

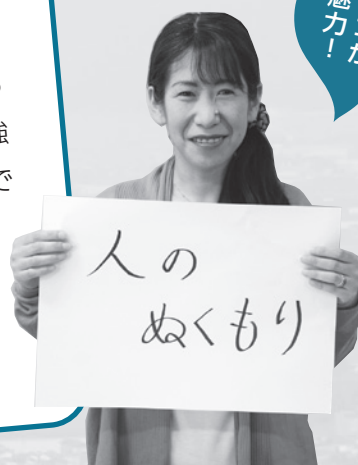
ようこそ！

多久でくらす

多久の魅力について、移住者4組にインタビュー！

近所同士で支え合って
暮らしていく生き方に
感動しました

ココが
魅力！



TAKU File 01

ながいし
永石 てるみさん
北多久町 / 会社員

結婚当初は白石町に住んでいましたが、夫の実家のある多久に家族3人で移住しました。今年で7年目を迎えますが、多久の「人柄」や「人との繋がり」に感動しています。今住んでいる地区で、生徒がいる世帯は私たちだけなのですが、近所の人々が声をかけてくださったり、子どもが危ないことをしていると注意してくださったりと子育てでは支えられる場面が多く、いろんな世代の繋がりを強く感じています。とても温かいこの町に住んでよかったと思っています。引越しの時は何かと大変だったので市の助成金制度（定住奨励金）を利用させていただき、費用面でも助かりました。

TAKU File 02

なかしま しょうへい
中島 昌平さん・もえみさん
南多久町 / 農業

兵庫でサラリーマンとして働く中、農業体験やボランティア活動に参加し、農業に魅力を感じて思い切ってこの世界に飛び込みました。嬉野町で住み込みで3年農業を勉強し、「後継者がいない農家を引き継いでみないか」と4年前に多久への移住を決意しました。農業をできるだけ使わない作物が作りたかったので、水も空気もきれいなこの環境ならできる！というのが第一印象でした。何より、地域の人は温かくて良い人ばかり！お互いに助け合い、喜びや楽しみを分かち合っています。受け継いだ棚田やみかん畑を夫婦で守りながら、地域の担い手としても頑張っていきたいです。

自分が思う農業が
できる環境に感謝して
地域に貢献していきたい

ココが
魅力！



多久市では、企業誘致の推進や学校教育の充実、子育て支援、定住奨励金や新婚世帯等家賃補助など、定住につながる政策施策を積極的に展開してきました。今回の特集では、多久に移住された4組に、多久の魅力を感じて聞いてみました。移住を考えたきっかけや移り住んで体験したことなど、私たちが住んでいても気付かない、多久のすばらしさや「人柄」、「風景」など、お話しいただきました。